



TSURUGASHIMA ROTARY CLUB

# 鶴ヶ島RC会報



2016-2017年度

R.I会長 ジョン・ジャーム

第2570地区ガバナー 前嶋 修身  
鶴ヶ島 RC 会長 宮前 典子

第一グループガバナー補佐 中寫 清  
鶴ヶ島 RC 幹事 長峰 秀和

第1693回例会 平成28年8月17日(水)  
例会場 アルカーサル迎賓館川越

【司 会】 SAA 西澤克己委員長

【開 会 点 鐘】 12:30 宮前典子会長

【お客様紹介】 宮前典子会長



坂戸 RC 会長 新井正健様 幹事 中村幹也様



越生毛呂 RC パスト会長 弓田勝俊様  
埼玉県立坂戸西高等学校 校長 大野好司様

【会長の時間】 宮前典子会長  
皆様のご協力のお陰で、今年度のガバナー公式訪問を成功裏に終えることができました。準備期間が短かったにも関わらずご尽力いただいた皆様に、心より御礼申し上げます。

さて、公式訪問当日のクラブ協議会は、会員全員を4グループに分け、4人の部門委員長がディスカッションリーダーになり、テーブルごとに決めたテーマについて話し合うロータリー・リーダーシップ研究会方式(RLI方式)で行いました。

RLI(Rotary Leadership Institute =ロータリー・リーダーシップ研究会)は、ロータリアンのリーダーシップ養成を目的とした草の根のプログラムです。1992年にニュージャージー州から始まり、2004年の規定審議会ではRIのパイロット・プログラムとするよう決議されております。

今回がRLI方式の初導入となりましたが、リーダーが「セッション方式」で進行するシステムが功を奏したようです。クラブ活動の改善案が積極的に提案されるばかりでなく、提案の具体化にまで話が及ぶところもあり、今までにない有意義なクラブ協議会になったと自負しております。

話は変わり、8月7日、山根委員長の主催による親睦委員会に参加しました。

10月予定の日帰り研修の行き先、台北バンカーロータリークラブの30周年記念式典への参加決議、バンカーロータリーとの親睦旅行の件、誕生会の担当、親睦ゴルフ、クリスマス会などについて話し合いました。

8月10日には、中寫ガバナー補佐、長峰幹事とともに、坂戸さつきロータリークラブの例会に参加しました。以上が私の活動報告です。

次に、第2570地区前嶋ガバナーからの連絡事項です。会員の皆様にお知らせするよう託かった内容は、下記の4点です。

①今年4月の規定審議会決定事項につき、各種情報が錯綜していましたが、地区戦略計画委員会を中心

に検討会を開き、当地区の統一見解を取りまとめることになりました。9月には、ガバナー月信、地区ホームページ、グループ会長・幹事会などで公表する予定ですのでご了解ください。当クラブは、公表された内容にしたがってクラブ定款を見直したいと思えます。

②ガバナー月信にクラブの行事などをご投稿下さい。今年度は全てカラーになりましたので、写真 2 枚と 200～400 字程度の原稿を送ってください。

先日のガバナー公式訪問の報告書は、長峰幹事がまとめて地区月信担当へ送付済みです。

③地区ホームページを7月1日付で作成しました。グーグルで“ロータリー 2570 地区”と検索してください。タブレット、スマートフォンにも対応しています。

④11月5日から6日にかけて、熊谷で地区大会が開かれます。

続きまして、地区からのおしらせです。

◎今年度の地区RL I 委員会より、セミナーのご案内がきています。

会長エレクト、次年度幹事、入会5年未満の会員が対象です。

◎会員満足度調査についてのアンケートがきています。会員全員が対象です。

最後に、青少年交換プログラムについてです。

当クラブ担当の野口真花さんは、今月 30 日にインドネシア・バリ島へ出発する予定です。

インドネシアからの交換生KiKi君は、今月 25 日に来日します。午後 10 時 30 分に羽田に着きますので、長峰幹事、カウンセラーの岸田直前会長、社会奉仕委員会から齊藤大祐さん、ホストファミリーの野口さんと私の 5 名で迎えに行きます。

青少年交換プログラムは、鶴ヶ島クラブ全体が関与すべき企画です。カウンセラーの岸田さんやホストファミリーの野口さん任せにならないよう、自発的に支援する姿勢でプログラムに臨むようにしましょう。

今後の方針ですが、来年3月12日のIMにむけて、松崎実行委員長を中心に組織作りに入ります。理事会には、ガバナー補佐の中畠さんとIM実行委員長の松崎さんにも出席していただくことになりました。皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

【 幹 事 報 告 】

長峰秀和幹事

1. ガバナー訪問のお礼が届いております。
2. ロータリー財団100周年記念チャリティコンペの案内が届いております。
3. ハイライト米山が届いております。
4. 留学生の来日日程について
5. 東松山・坂戸クラブさんの年度計画書が届いております。

【 出 席 報 告 】

田中憲一委員長

会員数	出席者	出席 免除者	免除 出席者	出席率	修正 率
30名	28名	4名	4名	95%	

◎ニコニコ BOX

田中憲一委員長

★ご挨拶が遅くなりました。本年度宜しくお願い致します。坂戸 RC 会長 新井正健様 幹事 中村幹也様

★今日はお世話になります。坂戸西高校に件よろしくお祈いします。弓田勝俊様

★坂戸 RC 会長 新井正健様 幹事 中村幹也様

越生毛呂 RC パスト会長 弓田勝俊様・埼玉県立坂戸西高等学校 校長 大野好司様ようこそお出で下さいました。内野一夫君

内野麒一君 森務君 新井慶司君

川野昇君中畠清君 松崎峰夫君

齊藤芳久君 齊藤勇司君 木村好伸君

清水良一君 岸田喜好君 横山明美君

田中憲一君 齊藤大祐君 長峰秀和君

新井明彦君

★「蟬の音に薄雲かかる林かな」ひぐらしが鳴いて夏から秋へ移ろいの候に入りましたが酷暑の一日になりました。

朋有り遠方より来たるなつかしきの中に一弾の涼風を運んで来会された弓田さんようこそ。宮根健治君

★今日は旧暦7月15日中元節鬼神を敬い先祖を尊敬し、地球が平安であるように乞い願います。

李 炳 東君

★イニシエーション・スピーチ新井明彦さん宜しくお願い致します。楽しみにしています。上野貴美子君

【 イニシエーション・スピーチ 】

みなさま、こんにちは。

今年の4月、山中様のご紹介をいただきに入会いたし

ました、新井明彦です。

私は現在、NPO法人あゆみ福祉会を設立し、障害を持たれた方の支援を「事業」として実施しています。

今日、皆様に私のことを分かっていたくため、何をお話すれば良いのか、考えましたが、次の3つについてお話することが一番理解していただけたと思います。

1つはNPO法人設立から現在にいたるまで。

2つめは、3年前に設立した障害者支援ネットワーク協議会のこと。3つめは、今年から設立した中央支え合い協議会のこと。以上をお話させていただきます。

まず、法人の説明です。

NPO法人を設立したのは、平成13年4月1日になります。

今でこそ「NPO法人」という言葉は社会的に認知されましたが、設立した平成13年当時は、市役所の担当者も「よく分からない」という時代でした。

NPO法人は、任意団体でも比較的容易に法人格を取得させ、社会的信用をつけて、市民活動をスムーズにさせることが目的です。全国的にみて、活動内容には大きく分けて二種類あります。

1つは、社会貢献やボランティアな活動。もう1つは介護保険や障害者総合支援法にもとづいた事業型の活動に分類されます。

当法人の場合は、事業型として実施し、常勤職及び非常勤を採用し5種類の事業を実施しています。

私は、法人を立ち上げるまで、鶴ヶ島市に地縁も血縁ない状態での設立でした。私が深谷市、妻が飯能市の出身であり結婚を機に中間地点で交通の便の良い土地として鶴ヶ島市に決めました。スタートは、私と妻の二名の職員でした。二階建ての一軒家を法人名義で借り、知的障害の成人男女4名と私たち夫婦の6人生活でグループホームとして事業を開始しました。

妻は福祉のことなど知らず、障害者と接したこともない状態での共同生活のスタートでした。妻は、ほぼ一年間、土日もなく朝と夜の食事を作り続け、夫婦の部屋は8畳間を半分仕切ったスペースでした。

が、世間やマスコミではグループホームの生活は和気あいあいと報じられますが、実際は風呂、トイレ、洗濯の取り合いでのトラブルや陰湿ないじめなど、ご利用者はストレスが溜まり、職員は毎日注意の連続で、お互いに疲弊してしまう生活でした。

これでは、ご利用者も職員も精神的に疲れてしまう。と

いう思いがあり、翌年からアパートを一棟、法人名義で借り、一人一部屋での運営に切り替えました。この時の夫婦の部屋は少し広くなり、1DKでした。各自、バストイレキッチン付の部屋でくつろぎ、朝と夜は「リビング」と名称をつけたオープンルーム兼宿直者の仮眠部屋で食事団欒、健康観察や小遣い整理などを行います。また、リビングと各部屋は内線電話で相互通話が可能にしている、夜間体調不良など急な対応も可能としています。この生活環境になってご利用者の満足度は格段に上がり、またアパートタイプのグループホームという噂が広まり、地元鶴ヶ島市を含め周辺市町村や遠くは、さいたま市など県内各地からも問い合わせが殺到し、これを契機に同様のアパートタイプのグループホームを計5箇所と、平屋建てのバリアフリータイプ1ヶ所を設置し現在に至っています。

ちなみに、妻は創業から二年目までは一緒に運営に参加しましたが、私の判断や妻の思いも合致し、三年目以降は一切現場に出ない体制に切り替えました。

これは、以前の従業員時代に反面教師としての思いがあり、創業者家族が職場内に存在していることによる、従業員の気疲れ等を否応無く見てきたためです。

今では専業主婦です。夫の仕事を理解しているので、客観的な相談などにのってくれています。

その後、事業部門を少しずつ増やし、グループホーム以外にヘルパー派遣事業・児童デイサービス・障害者相談支援事業(障害者版のケアマネ事業)を実施して、来月から障害の重い方の通所事業をスタートいたします。

障害者施策は、まだまだ需要と供給が追いつかず、不足している事業も多くあり、ビジネスという観点で考えると多くのチャンスはあります。

が、想定外の出来事も多く、障害を持つ方との接点もない方も多く、営利企業の事業参入は、なかなか進まないのが現状です。

法人の設立や細かい事業内容の話をしめると、恐らく1時間経過しても終わらないと思いますので、この続きは持参した法人パンフレットをご参照ください。

2つめの話になりますが、法人の運営にも少しは余裕が出来、地元鶴ヶ島市の現状に目を向けた時、福祉関係者、事業所同士や、視覚聴覚などの当事者団体、福祉系のボランティア団体など、活動はしていてもお互いを知らぬままでした。



これでは、お互いがすれ違うだけで存在意義や、情報交換もないままではもったいないし、いけないのではないかと、思い鶴ヶ島市社協に「先ずはお互いを知り合いませんか」と働きかけ、準備期間を1年間ほど経た後に、平成25年6月、障害者支援事業所、当事者団体、ボランティア団体、企業等で組織する「鶴ヶ島市障害者支援ネットワーク協議会(通称Sネット)」が設立いたしました。

設立主旨には「住み慣れた鶴ヶ島で、障害があってもなくても、安心安全に生活すること」

世間にはよくある話で発起人がそのまま代表をやれ、というかたちで私がこの会長の役を引き受け、現在に至っています。

このネットワーク協議会の特徴的な点は、役所のような縦割りをなくし、どのような障害種別も受け入れています。

毎月の定例会で、視覚障害者の隣に、聴覚障害者が座り、手話通訳者が話す。という光景も今ではあたりまえになっています。

活動は様々行っていますが、幸い行政関係者の認知度は高い反面、市民にはなかなか知られていないのが課題で、この点はロータリークラブと共通しているかと思えます。

3つめの話になりますが、今年の6月から、中央支え合い協議会が発足しました。

私は藤金に居住していますが、この活動にも自ら手を挙げ活動に参加しています。

支え合い活動は、障害、高齢、子ども、若者など全ての市民を対象にしている点が魅力で、私は仕事柄、福祉関係者との接点が多いのですが、もっと視野を広くして地域をみる必要があるのでは、と自問自答していた時期に発足したので、福祉や障害の立場から提案したり、子どもの遊び場づくりなど、参加しています。

最後に、私は今後障害者雇用を推進していきたいと考えています。

皆様方大企業において、一社に一名、雇用していただけたらもっと障害者理解や啓発が進むのではと考えています。



青少年交換学生、野口真花さんは今月30日にインドネシア・バリ島へ出発する予定です。



1年間頑張って来てください !(!)!

【 閉 会 点 鐘 】 13:30 宮前典子会長



事務所：鶴ヶ島市商工会館内

鶴ヶ島市鶴ヶ丘 855 TEL049-271-6600

FAX049-271-6610

例会場：アルカーサル迎賓館川越

川越市鯨井新田4-11 TEL049-231-7777

E-mail:tsurugashima.rc@ah.wakwak.com

URL :http// tsurugasima.rc.jp

例会日時：水曜日 12：30～13：30